

THE DAY



NEWS LETTER

2025 / 4 / 1 Noboru Morishige

YouTube 森繁昇チャンネル



友達、親戚、家族、兄弟姉妹、これを読んでくださる皆さん

2025年4月1日

皆さん元気でしょうか？皆さんが元気になっておられることを心から願っています。

決して失望させられることはない！

もうじき暖かくなりますよ。まだ寒い日もあると思いますが、暖かくなる方に向かっています。間違いありません。春ですから。それは神の摂理です。いくら冬が寒かっても、いくら長かっても、春は私たちをがっかりさせない。必ず来ます。それは、ちょうど、神であるイエス・キリストの愛が、私たちをがっかりさせないのと同じです。真の神に信頼する者はがっかりさせられることはありません。イエス・キリストの約束に信頼する者は決して失望させられないのです。イエス・キリストは、時と日と季節、そして、天と地の全てをも制御されている方なのです。

イエス様、私に何を？

私は考えるのです。そして私の救い主であるイエス・キリストに尋ねるのです。「人々が真の神であるあなたを知りたくするために、私は何をしたらいいのでしょうか？」と、長い間そのように尋ね、そして、いただいた言葉を歌にしたり、話にして説明したりして、人々にイエス・キリストのこと、またイエス・キリストが下さる永遠の命の希望を伝えさせてもらってきました。

私、まだ、やってるん？

去年の秋、20年ぶりくらいで、ある家族に会

いました。「どうされていますか？」の質問に、「まだ昔と同じようにイエス・キリストのゴスペルを伝えさせてもらっています。」その人と話が終わって一人になった時、私は考えていました。「私、まだやってるん？」いや、「まだ、やらせてもらってるん？」するとなぜか涙が。

イエス・キリストとイエス・キリストにある永遠の命の希望を伝えてきて、本当に長い時間がたちました。誰から言われたのでもないんです。そのことは、イエス様から、私の役割だと確信させられたことでした。そして、それは、ただ、イエス様の恵みとあわれみ、そしてイエス様の下さる力でやらせてもらったのです。もちろん、その間には、自分の思いでやったことや、また自分の力で何とかしようとした多くの失敗もありましたが…。そして、その役割のために、たくさんの同労者の兄弟姉妹が与えられてきました。皆さん、ありがとうございます。イエス様、皆さんを感謝します。私は、多分、そんなことを思いながら嬉しくて泣いていたんですね。

その役割が私に与えられたと強く思い始めたのは、クリスチャンになって5年くらいたった頃からでした。

【お知らせ】 イエス・キリストを知る（信じる）前、無神論者だった私の心が、どのように変遷していったクリスチャンになったかを、現在、小冊子にしようとしています。どうか読んでみてください。CDと同じように、皆さんに配るものですので、どうか連絡してください。冊数も連絡ください。無料です。

「神は、私に、どうやって欲しいのだろう？」 1978年夏

「イエスを伝えるって、どうやってはじめるん？」もちろん、イエス様のことを人に話せばいいのですが。

最初、私は、ある宣教グループに入って、日本に送り出してもらおうという願いがありました。イエス様を伝えることには間違いないのですが、宣教グループに入れば経済的にサポートがあって安定すると思ったことと、もう一つは、もうすでにその宣教グループが日本にあったので、もっと広い範囲でイエス様を伝えることができるのじゃないかと思ったからです。その夏にその宣教グループのメンバーになったのですが、メンバーになって3か月した頃に、いわゆる宣教師として日本でイエス様を伝えるのではなくて、ただ自分の国に帰って、普通の人で、働きながらイエス様を伝えるのが神様の計画のように強く感じてきて、その宣教グループを辞めました。そして、自分の両親や兄弟が住んでいる故郷に帰ることにしたのです。

山口県熊毛郡熊毛町高水、私の生まれたところです。1978年暮、古郷を出て5年8ヶ月たっていました。優しい父は、私たち家族が帰ってくるというので、昔牛小屋だったところに床を張り、電気を入れて、しばらく私たちがそこに住めるようにしてくれていました。涙。

翌年6月、下松市にある県営住宅に引っ越ししました。下松は、私が5年生の時、家族で引っ越して以来住んでいた町で、両親はそこで八百屋を営んでいました。私たちが郷里に帰る頃には両親は熊毛町に戻っていましたが、熊毛町から通って八百屋を続けていました。両親がやっていた八百屋のすぐ近くに田中耳鼻科がありました。田中先生は既に亡くなっていて、建物の一階を6畳の部屋に幾つか区切り、貸し部屋として出していました。その一つを借りて、小中学生中心の英語の塾を始めました。「Morishige English School」と看板を出しました。黄色いバックに緑の字、よく目立ちました。そこで、日曜日の朝、礼拝を始めた

のです。それが、日本で一番最初の教会礼拝でした。アメリカにいた時の礼拝を思い出し、それを真似て、イエス様にお祈りして、イエス様を賛美して（こども賛美歌や、大人の賛美歌集を使いました）聖書を読んで、そのことについてイエス様から習い、それらの内容について話したりしました。人々のためと、それからの働きのためにイエス様にお祈りしました。

「English Bible Class」と名付けたチラシを作りそれを近所で配り、日曜日の早朝、英語に興味のある人が来ればと願って始めました。わたしはその同じ場所で夜、大人の英語クラスもやっていたので、何人が英語クラスに来ていた人が英語聖書クラスにも来てくれる時がありました。しかし、ほとんど来ませんでした。一人とか二人、誰も来ない時もありました。誰も来ない日が何日が続いたことがありました。私はがっかりしていました。腹も立っていました。

私はここで何をしてる？朝9時頃だったでしょうか？怒っていた私は、2階に住んでいる田中さんが起きたらいいと思って、わざと大きな声で準備していた歌を歌いました。

「Sing Hallelujah to the Lord……」

エッ？大声で歌っていた私は悲しくて泣いていました。するとイエス様が私の心に言っているように感じたのです。「あなたの力はわたしから来ていなくて、クラスに来る人の数から来ている」と。それは当たっていました。どうしてそんなことを自分一人で考えられるでしょう？それは私の思いついたことではなかったのです。それはイエス様が優しく私に語り、私を励まし教えてくださったのです。

以前の自分をすぐ忘れる私

そのことはよくありました。

私は、クリスチャンになるまで、自分がどんな人だったかをよく忘れて、イエス様のことを聞いてくれない人、信じてくれない人に腹を立てていました。そしてがっかりしてるのです。愚かですよね！私だって反抗的だったじゃないですか。

私もばかにしてたじゃないですか。私だってそんな話は聞きたくないと言って、焼き飯を壁に向かって投げたではありませんか。そんな私がイエスを求めるようになって、神の愛と真理、また永遠の命の約束は本当だと知ったのです。

しかし、私は、そのことを「神自身が教えてくれた」というのを忘れてしまうのです。忘れてはいけません。「イエス様、どうか、私がそれを忘れないように助けてください」。以前のそんな私が神の愛をいただくものとなったのです。ですから、誰でも、どんな人でも神の愛をいただくことができます。それは神の働きで、神自身が、イエスを知りたいと願う人の心に語り教えてくださるのです。人ではないのです。

今日のテーマ「自分の存在が無くなる？」

イエスの良い知らせである永遠の命の約束（ゴスペル）を知らない人は、どんな気持ちで、死の床についているのでしょうか。「私は、もう、長くはない、私は、無くなるんだな、死んだら終わりだから、もう何も考えなくていい、何も考えたくない」そういう気持ちで、死に向かうのでしょうか？私は思うのです。もし、自分に正直になるなら、そのような気持ちで死を迎えるのは、本当は絶対嫌だと思うのです。なぜ?? それは、その思いが悪魔の嘘だからです。「死んだら終わりだ」と悪魔の嘘を信じているからです。しかし、嘘を信じるようになったのは人のほうにも責任があるのです。なぜなら、自分の、悪い（悪いの大小は関係なく）と知ってることをする心（まだ神を知らないの、それを罪とは認められないのですが）によって、真の神を求めない心になり、悪魔の嘘（死んだら終わりだ）を信じるようになったからです。それは悪魔が与える絶望です。しかし、神の希望は、絶望の中に生まれるのです。なくならない希望、それは、神であるイエス・キリストだけが与えることができるのです。

永遠の命の希望

神のひとり子が、あの十字架の上で、私たちの

罪の罰を代わりに受けたことを現実として知るチャンスがまだあります。生きている間は、まだ、そのチャンスがあるのです。体が動かなくても、言葉も口から出なくても、心の中はまだ神と話すことができます。神に、自分の意思表示ができます。人の本質はその人の心だからです。それは、正に、神の恵みとあわれみです。真の神を知るのは、イエスについて聞くこと、また、読むことから始まるのです。神であるイエス・キリストの愛のメッセージ、すなわちゴスペルを聞くとき、人はそのことを、神の前で、考えるチャンスがあるのです。そして神の愛に、「ありがとう」と応答するチャンスがあるのです。私たちがこの世で最後の息を吐く時まで、永遠になくならない希望をもらうチャンスがあるのです。全ての人にです！あなたにもです!!

これを読まれた皆さん、今日、今、このことを真剣に考えて、神の愛にある永遠の希望、永遠の命をイエスからもらってください。「本当なら知りたい」と心をイエスに見せれば、イエスの方から教えてくれます。そして、「ありがとう」と、イエスの愛をもらうのです。

罪の罰である死を打ち破り、よみがえったイエス・キリスト

もし聖書の言葉が真実ではなく作り話なら、創世記1章1節が真実でないなら、クリスチャンの宣教は実質のないものとなります。クリスチャンの信仰も実質のない、作り話を信じているということになります。このことは聖書全体でそうなります。しかし、神の子が人となって、この世に現れ、人類のすべての罪のために、代わりに父なる神から罰を受けて死に、三日目によみがえることによって、ご自分が神であること、神は愛であること、また神の約束が真実であることをこの世に表しました。イエス・キリストは死人の中からよみがえり、悪魔の策略である死を打ち滅ぼしたのです。

死ぬ用意ができる

イエス・キリストを知って、イエスの愛をもら

う時、その人は、この世での死に直面できます。死んでゆく用意ができます。なぜなら、イエスに罪を赦された者が、イエスと一緒に死に勝ったからです。自分が永遠に生きる天国に行くことを知るからです。そして、その人は、イエスの愛が現実であることをますます知ることになるのです。これは、正に神の恵みとあわれみ、神の奇跡の業です。

「歩きながら」

昔のCDはあまり聞かないのですが、最近「歩きながら」のCDを聴きました。そのテーマソング「歩きながら」の一部です。

神の御旨で生きてる限り

ついてゆくイエスの後を

父の御旨に従い続け 自分の十字架を担い

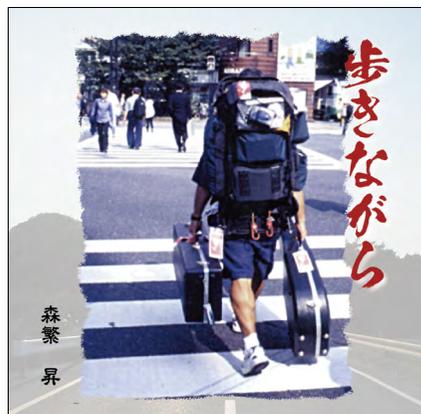
はぐれた羊を探すため あの苦い丘に登り

俺も死んでゆくのか 歩きながら

俺も天国へ行くのか 歩きながら

これを聞いていて、そのCDを作った時のあの

強い気持ちを思い出したんですね。「イエス様を知ってほしい！」今回そのCDを複製することにしました。どうぞ連絡してください。聞いていただきたいのです。プレゼントです。他の方にも聞いてほしい方は枚数を連絡してください。よろしくお願ひします。



- 【収録曲】 1. 聞く耳のある者は、聞きなさい
2. 天国人 3. Be Thou my vision 4. 命取り
5. 脳味噌 6. ゴキブリ 7. 荒野 8. 陽の出
9. 歩きながら 10. 主の祈り

Noboru Morishige

4月・5月のLIVE Information

この春に幾つかコンサートがあります。もし近くであるようでしたら、家族の人や友達を誘って聞きに来て下さい。よろしくお願ひします。

4月20日(日)	主イエス恵愛教会	春日井市南下原町3-5-8	0568-85-9632
4月23日(水) 17時	大阪救霊会館	大阪西成あいりん地区	06-6632-5820
4月25日(金) 15時	憩いの広場アイボリー	京都市東山区毘沙門町37(入場料1000円ドリンク付)	075-561-4235
5月8日(木) 12時35分~12時55分	関東学院大学金沢八景キャンパス	チャペルタイム 〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1	045-786-7218
5月9日(金) 12時35分~12時55分	関東学院大学金沢八景キャンパス	チャペルタイム 〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1	045-786-7218
5月11日(日) 15時~16時30分	市立伊丹ミュージアム(旧岡田家住宅・酒蔵)		090-3790-6162(西口)
5月14日(水) 17時	大阪救霊会館	大阪西成あいりん地区	06-6632-5820

ザ・デイ / 森繁 昇

〒744-0019 山口県下松市桜町2丁目17-24

FAX▶0833-91-6492

E-mail▶thewindblowing@hotmail.com

振替口座▶01330-4-93687 ザ・デイ

HP / thedaywill.com

Noboru Morishige

P.O.BOX 1666

KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A

TEL▶808-966-9252

